

8. 脳・神経の働き

ブループリント大項目の⑩

問題 No	解答 No	科目	項目	正解	5894 人 再現正答率
10	10	神経・生理 心理学	脳波	5	12.9
11	11		大脳皮質	5	69.3
25	25		自律神経	2	88.2
87	87		中枢神経	5	34.2
88	88		視床下部	2	61.6

NO10 成人の脳波 全体正答率 12.9% (受験生は2つの誤答肢に集中 難度高)

α 波はどんな時に抑制され、前頭部・後頭部いずれに優位か。 β 波はどのような睡眠段階で抑制されるか。そのほか δ 波、 θ 波についての説明。

【正解】 正解は、 θ 波は認知症で増加するである。

●コメント 脳波に関する基礎的な問題である。

NO11 大脳皮質の機能局在 全体正答率 69.3%

Broca 野は前頭葉にある。Wernicke 野の場所。一次運動野の場所。一次視覚野の場所。その他

【正解】 正解は、一次体性感覚野、である。

●コメント 現認者講習会テキスト、p.255-266 参照。

NO25 自律神経系 全体正答率 88.2%

副交感神経系の活動亢進→瞳孔散大・発汗減少。交感神経系の活動亢進→気道収縮。ストレス→副交感神経系の活動亢進。交感神経系の活動亢進→血圧上昇。どれが正しい？

【正解】 交感神経系の活動が亢進すると、血圧が上昇する。

●コメント 自律神経系に関する基礎的な問題である。

NO87 中枢神経系 全体正答率 34.2% (受験生の選択肢バラバラ 難度やや高)

意識水準の維持に必須な領域

脳幹網様体、小脳、大脳辺縁系、大脳基底核ほか

【正解】 脳幹網様体

●コメント 中枢神経系に関する基礎的な問題である。それぞれの領域の機能については押さえておくことが望ましい。

N088 視床下部の機能 全体正答率 61.6%

運動協調の調節，対光反射の中樞，短期記憶の形成その他から選択

【正解】 正解は、摂食行動の調節である。

●コメント 視床下部の機能に関する基礎的な問題である。それぞれの機能がどの領域と関連するか、押さえておくことが望ましい。

9. 社会・集団・家族 2問（出題率 1.3%）

ブループリント大項目の⑪

問題 No	解答 No	科目	項目	正解	5894 人 再現正答率
13	13	社会・集団・家族	社会的認知	5	86.7
14	14	心理学	思考	1	37.6

NO13 社会的認知 全体正答率 86.7%

透明性の錯覚とは？行為者・観察者バイアスとは？光背効果とは？疑似相関とは？確証バイアスとは？

【正解】 正解は、光背効果とは、人物のある側面を望ましいと判断すると、他の側面も望ましいと判断する傾向をいう、である。

●コメント 社会的認知についての基本的問題である。他のそれぞれの用語について、正しい説明を付けられるように学習することが望ましい。

NO14 集団思考 全体正答率 37.6%（受験生の半分は1つの誤答肢につけていた 難度やや高）

集団構成員間の親密性が低いとき思考や発言が抑制されやすい、集団で課題を遂行すると一人当たりの成績は単独で遂行するときよりも低下する、など集団思考についての説明。

【正解】 正解は、集団内の同調圧が高いと生じやすい、である。

●コメント 社会的抑制、傍観者効果、といった用語も併せて押さえておくことが望ましい。